



開校32周年

# 三小だより

令和3年4月30日 発行  
<5月号>  
江戸川区立南葛西第三小学校  
校長 宮脇 隆

4 質の高い教育を  
みんなに



## 考える

副校長 竹越 康晴

新緑の美しさが日に日に増していく時節を迎えました。この前の休日、自宅のそばでは燕が飛んでいる姿を見かけました。学校の校庭をあらためてよく見ると、琵琶の実が膨らみ始めたり、つつじの花が咲き誇ったりしています。新型コロナウイルスに苦慮されている中ですが、かかわりなく季節が進んでいます。

昨年の今頃は、子供たちがいない職員室で学校便りを作成していましたが、今年は賑やかに学校生活が進んでいます。これから子供たちの植えて育てる植物が校庭を賑やかにしていくことも楽しみです。



「学びをとめない」を念頭に教育活動を進めていきますが、どうやら例年どおりにはいきそうもありません。どうすれば密が避けられるのか、学びをとめずに教育活動を推進できるのか、今年も思案のしどころです。授業や学校行事を少しでも充実させていきたいと思えます。

「あなたは、どう思う？」これは、私が担任をしていた時、子供たちから「先生～どうすればいい？」と聞かれた時のセリフです。教師として、すぐ助言を与えてしまいたい気持ちを抑えます。子供たちにまず考えてもらうためです。すると、きまって「う～ん、、、」と喋り出します。その絞り出された意見に肉付けをします。そうやって、互いに知恵を出し合い良いものを導き出すよう心掛けてきました。

フランスの思想家が遺した言葉に次のようなものがあります。「人間は考える葦である」。葦のように細い存在であるけれども、人間は無尽蔵に考える力をもっているという意味です。数世紀も前から人間は、知恵の大切さを認識していました。今こそ、知恵を集めて難局を乗り切らなくてはなりません。1学期は運動会、2学期は音楽会、3学期は卒業式など大きな行事も控えています。計画委員の子供たちをはじめとして、教職員と子供たちで知恵を出し合って、どうすれば子供たちが生き生きと活動でき学ぶことができるか、また、その様子をどのようにして保護者の皆様や地域の方々に発信することができるか、教職員もそこにやり甲斐を見だし、一つ一つ乗り越えていきたいと思っています。

### 【お知らせ】

新しい職員の配置が決まりましたので、御紹介します。

①1・2年生の書写、2年生の図書及び5・6年生の家庭科：井門 瑛保（いもん あきほ）

②外国語活動及び外国語 ALT：アルマン シンピ

よろしく申し上げます。